

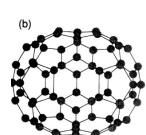
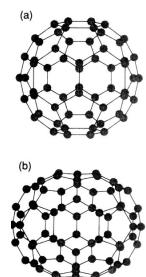
NECなど、カーボンナノチューブ電極採用の携帯機器向け燃料電池を開発

2001年8月30日

日本電気(株)らは、カーボンナノチューブの一一種である“カーボンナノホーン”を電極に採用した携帯機器向けの小型燃料電池を開発した。エネルギー密度がリチウム2次電池の10倍など、高効率な次世代エネルギーとして注目されている。将来的にはノートパソコンの数日間の連続使用などが可能になるという。



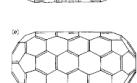
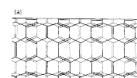
サッカーボール分子、C₆₀
ラグビーボール分子、C₇₀



「線は帳面に引け」 by Euler
エッジの数 = 頂点の数+面の数 - 2

どんなフラーレンにも
正五角形が12個ある

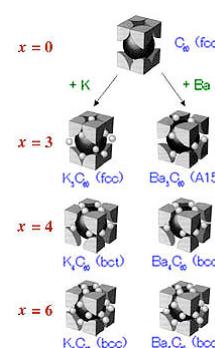
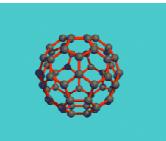
フラーレン
引き延ばしたら
ナノチューブ



固体は煤そのもの
溶液は鮮やかな紫

フラーレンC₆₀のアルカリ金属塩

(M⁺)₃(C₆₀³⁻⁻)
超伝導体になる



化合物	結晶構造	格子定数 (nm)	T _c (K)
Na ₃ RC ₆₀	sc (< 313K)	1.4028	3.5
Na ₂ CsC ₆₀	sc (< 299K)	1.4046	12
K ₂ RbC ₆₀	fcc	1.4337	27
K ₂ RbC ₆₀	fcc	1.4267	23
K ₂ CsC ₆₀	fcc	1.4292	24
K ₃ C ₆₀	fcc	1.4240	19.3
RbCs ₂ C ₆₀	fcc	1.4555	33 (最高T _c)
Rb ₂ CsC ₆₀	fcc	1.4431	31.3
Rb ₃ C ₆₀	fcc	1.4384	29
Cs ₃ C ₆₀	sc	1.4010	8.4
Sr ₆ C ₆₀	bcc	1.0975	4
Ba ₆ C ₆₀	bcc	1.1171	7

有機超伝導転移温度の記録保持者！